

資源管理型漁業推進総合対策事業調査（地域重要資源：クロソイ）

山 内 高 博・山 田 嘉 暢

本調査は2年間継続して実施しているので、全体のとりまとめは平成6年におこなう。（今年度は概報とした。）

（対象地域：風合瀬地区）

1. 水揚げ量・単価調査

青森県のソイ類の漁獲量は昭和56年には196tであったが、平成元年には111tまで減少した。その後増加傾向を示し、平成5年には158tまで回復した。風合瀬漁協の平成元年以降漁獲量については増加傾向にあり、平成元年は1.6tであったものが、平成5年には3.6tとなっている。また、平成5年の同漁協における銘柄別の平均単価は、「大」で1,211円、「小」で842円、「P」で587円であった。

2. 市 場 調 査

平成5年におけるクロソイの銘柄組成は、重量換算では、銘柄「大」「小」「P」がそれぞれ45.5%、41.0%、13.5%、金額換算では、それぞれ52.8%、37.9%、9.3%となり、銘柄「大」「小」の占める割合が高かった。しかし尾数換算では各銘柄はそれぞれ23.0%、50.0%、27.0%となり、銘柄「小」「P」の占める割合が高かった。

また、漁業種類別漁獲量は底建網が97.7%、刺網が1.8%、釣が0.5%であり、大部分を底建網が占めた。

3. 魚体測定調査

耳石の測定から年齢と成長を推定した。Von Bertalanffyの成長式から全長は1才で10.4cm、2才で21.8cm、3才で32.6cm、4才で39.4cm、5才で45.7cmとなった。

また、全長（TL：cm）と体重（TW：g）の関係式は、 $TW = 0.02264 \times TL^{2.8993}$ 、 $r = 0.979$ となった。

4. 標 本 船 調 査

操業実態が把握しにくい釣漁業を対象に標本船を選定し、平成5年6月から1年間調査した。また、風合瀬地先に28調査点を設け、調査点毎に、操業日数、操業時間、及び漁獲物重量等を調査した。

5. 回遊移動調査

平成3年から4年にかけて、クロソイ人工種苗合計5,365尾（平均全長8.9cm）を風合瀬地先にアンカータグ標識で放流したところ、平成5年4月5日から平成5年12月27日までに15尾の再捕があり、その再捕率は0.28%であった。再捕地点はほとんどが同地先周辺であり、最も遠い地点でも約15kmであった。